令和7年度　ふたば認定こども園横川目こども園　自己評価結果表

重点課題	全園児保護者アンケート 内容及び総合結果		自己評価による成果と課題
教育保育内容の充実	①　子どもが喜んで登園しているか ②　共に過ごす楽しさを味わっているか ③　社会性やルール知り、守る態度の育成 ④　思いやりややり抜く力の育成 ⑤　のびのびと自己表現できる子の育成 ⑥　命や自然を大切にする心の育成	99.4%	○子どもの興味関心から遊びを広げることができた ○異年齢の関わりによる育ち ○教職員間の遊びの共有 ●遊びの継続、発展 ●自由と決まりのメリハリの付け方に悩む
食育の充実	①　食への関心の高まり ②　献立内容の充実 ③　給食の工夫	100%	○子ども、保育者、調理者のやりたいことが実現できた（食育、クッキング、献立等） ○味も見た目にもおいしい ●保護者への食育の発信力への課題（継続） ●残食への対策として、調理者も子ども理解に努める
園行事	①　園行事に喜んで参加しているか ②　保護者や地域に開かれた行事の実施	98.4%	○日常の生活や遊びを行事に自然に生かすことができた ○行事を通した異年齢の育ちが見られた ●余裕がなかった
保護者・地域連携	①　子育て支援事業の工夫について ②　小学校との連携について ③　おたよりによるわかりやすい情報発信 ④　保護者と教職員との情報交換 ⑤　相談体制の充実	100%	○連絡帳がない分、送迎の際に積極的な情報共有ができた。仕事の効率化が促進された ●行事の感想を保護者から聞く機会の減少。 ●ICT 活用への理解はあるものの、個別の様子をもっと知りたいと感じる保護者も。活用方法への課題あり。
安全・保健管理	①　適切な健康管理、衛生管理 ②　配慮された安全管理	100%	○感染症お知らせボードにより、園内の状況を知らせることができた ○おたより、HP など、不定期ではあるものの、取り組みを知らせた ○嘔吐処理方法の再周知できた

令和8年度に向けて

・教職員間の連携の継続（遊び、子どもの様子等）

・連絡帳が ICT システムに変わったことで、教職員、保護者共にメリット、デメリット有り。精査し推進する。

・日頃の何気ない行事、普段の様子の ICT による情報発信の方法模索。